

姉妹都市

Sister Cities



サーモンアーム

No. 4
1999.3



This friendship gate commemorates 10th anniversary of Azuma-Machi to Salmon Arm twinning student exchange

祝 10周年記念 文化友好交流

Photo Duncan Myers
サーモンアーム市のカレンダーより

10年の交流 カナダの地に「Friendship Gate」完成

町長 坂本 允
(Mayer)

今年でサーモンアーム市との交流が10年を迎え、事業の推進に関わった者として感慨深いものがあります。

子供達に異文化を体験してもらい、地球サイズでものを考えられる人間になってほしいという願いから取り組んだ事業であり、これまで多くの出会いと感動があったことと思います。

昨年、お互いが協力し「友情の門」が完成致しました。これを機に更に絆が深まり末永く交流が続くことを心から願い、今後とも町民の皆様のご協力をお願い致します。

姉妹都市交流委員会会長 山口 勝夫
(Chairman of sister cities)

サーモンアーム市との姉妹都市を結んで10年、数々の想い出が浮かんできて感慨無量であります。

大切に育てあげてきた交流の芽が、昨年カナダの地に「友情の門」というかたちにまで成長しました。

これからは、YES・NOをはっきり言うことでお互いに理解し合い、交流に一つ一つ花を咲かせていきたいと思います。

ご協力いただいた町民の皆様に心より厚くお礼申し上げます。

交流の歩み10年 数々の友好を深めながら

年表でふり返る一〇年の友好

一九八八・一一・二七	東村長からサーモンアーム市へ姉妹都市提携の打診をする
一九八八・一一・二五	サーモンアーム市長から議会で満場一致で可決の旨返書が届く
一九八八・一一・二五	東村長からのサーモンアーム市へ今後の協議提案小・中学生の絵画等送付
一九八八・一一・二五	姉妹都市提携事前訪問
一九八八・一一・二五	成毛村長 坂本允議員 岩崎総務課長補佐 産業文化祭において、サーモンアーム展開催
一九八八・一一・二五	サーモンアーム市長夫妻来村
一九八八・一一・二五	東村役場において「姉妹都市提携調印式」
一九八八・一一・二五	第一回青少年親善大使派遣（一七名）
一九八八・一一・二五	第二回サーモンアーム親善訪問団来村（二〇名）
一九八八・一一・二五	第二回青少年親善大使派遣（二三名）
一九八八・一一・二五	第二回サーモンアーム親善訪問団来村（二三名）
一九八八・一一・二五	第三回サーモンアーム親善訪問団来村（二五名）
一九八八・一一・二五	第三回青少年親善大使派遣（二二名）
一九八八・一一・二五	第四回サーモンアーム親善訪問団来村（二四名）
一九八八・一一・二五	第四回青少年親善大使派遣（二六名）
一九八八・一一・二五	第五回サーモンアーム親善訪問団来村（二六名）
一九八八・一一・二五	第五回青少年親善大使派遣（二二名）
一九八八・一一・二五	第一回姉妹都市一般訪問団来村（二二名）
一九八八・一一・二五	第五回サーモンアーム親善訪問団来村（二三名）
一九八八・一一・二五	第六回サーモンアーム親善訪問団来村（二三名）
一九八八・一一・二五	第六回青少年親善大使派遣（二三名）
一九八八・一一・二五	第二回姉妹都市一般訪問団来村（二〇名）
一九八八・一一・二五	第六回サーモンアーム親善訪問団来村（二三名）
一九八八・一一・二五	第七回サーモンアーム親善訪問団来村（二〇名）
一九八八・一一・二五	第七回青少年親善大使派遣（二〇名）
一九八八・一一・二五	友情の門建築に職人五名派遣
一九八八・一一・二五	第八回青少年親善大使派遣（二二名）
一九八八・一一・二五	第三回姉妹都市一般訪問団来村（二四名）
一九八八・一一・二五	一〇周年記念事業「友情の門」落成式
一九八八・一一・二五	産業文化祭において交流の歩みを展示

'98「Friendship Gate」完成 sister cities 10周年を記念して

苦勞を榮譽にかえて

大工職人代表 板橋 要
(Artisans)

異国の地に日本式の門を建てることは途方もない夢のような話だと思いました。それが実現し、自分がその建築に携わることができたことを幸せに思います。

押して切るカンナ、押して切るノコギリなどカナダの道具は日本のものとは大分違いました。辞書にも載っていない専門用語をジェスチャーを交えて、コリン・メイズ市長に理解してもらうのは大変なものでした。

食べ物、金銭の苦勞も多々ありましたが、完成が近づくにつれて沢山の人が訪れ、東町との交流を祝福してくれた時には、苦勞が報われた思いでいっぱいでした。



起工式

Ground breaking ceremony



基礎工事
Foundation



棟上げ
Frame



組立て Build



強力な助っ人
Canada's supporter



完成

Completion



竣工式

Finishing ceremony

写真でふり返るこの10年

〈親善大使〉

東町から

サーモンアーム市から



H2. 第1回



H3. 第2回



H5. 第3回



H6. 第4回



H7. 第5回



H8. 第6回



H9. 第7回



H3. 第1回



H4. 第2回



H5. 第3回



H7. 第4回



H8. 第5回



H9. 第6回



H10. 第7回

Season's Greetings
from
The District of Salmon Arm

Mayor John McPherson
& Council



"1998" was a eventful year for the community of Salmon ARM. The Friendship Gate Ceremony was the high light of the year. Thank-you



〈コリン・メイズ市長〉

1996. 12月2日から市長となる。

〈訳〉

1998年はサーモンアーム市の人々にとって重大な年でありました。友情の門竣工式は今年1番の最高の出来事でした。

市長 コリン・メイズ
& 議会一同

おつかれさま 1998年

Welcome to Azuma & Homestay in Salmon Arm



東中で対面式に臨む



一行ってきました広大な国へ—students—



「うま〜いかない」書道にtry



一行ってきました広大な国へ—adults—

ホストファミリーのみなさん

中山 安江(上須田)	吉田 圭一(福田)	蛭原 ゆかり(伊佐部)
坂本 安由記(結 佐)	根本 雅美(結 佐)	村田 有佳(結 佐)
宇佐 美直樹(西 代)	北見 知佳(市 崎)	板橋 由香(福田)
飯塚 貴子(市 崎)	田口 智美(手賀組新田)	高柳 綾子(曲 淵)
山口 勝夫(市 崎)	吉田 慶治(結 佐)	吉田 薫(伊佐部)
黒田 保彦(上須田)	坂本 允(西 代)	

親善大使派遣団のみなさん

団長 山口 勝夫(姉妹都市委員会会長)	引率 若山 佳江(東中教諭)
鳥羽由希枝(高3 伊佐部)	大野 仁美(高2 清久島)
川上 裕之(中3 幸田)	高柳 浩一(中3 曲淵)
坂本 義量(中3 八筋川)	根本 淳(中3 伊佐部)
水飼 誠司(中3 福田)	伊藤 麻衣(中3 手賀組新田)
坂本明日香(中3 西代)	若山 緑(中2 伊佐部)
大野 恭義(中1 清久島)	根本 雅彦(中1 結佐)
渡辺 裕子(役場総務課)	黒田 健二(中3 阿波崎)
	根本 孟(中3 橋向)
	飯田 夕子(中3 西代)
	大沼 孝洋(中1 本新)
	板橋 梓(中1 福田)

姉妹都市一般訪問団のみなさん

団長 吉田 慶治(結佐)	高城 功(上須田)	大竹 祐助(橋向)
栗山 勲(六角)	岩崎 重次(阿波崎)	長坂 太郎(佐原組新田)
堀口 正良(伊佐部)	大野 修(清久島)	成毛 昭三郎(橋 向)
成毛 龍雄(橋 向)	成毛 美津子(橋 向)	水飼 敏枝(手賀組新田)
高城 ナホ(釜 井)	篠塚 照代(西 代)	

編集後記

交流10周年記念の発刊に、広報委員が燃えました。しかし、限られたスペースにままたず、満足いただける紙面が組めなかったことをお詫び致します。

秋には、産業文化祭に資料を展示し、沢山の町民にサーモンアーム市との交流を知っていただけたことはうれしいことでした。

この3月21日から28日まで、今年も訪問団をお迎えすると聞いていますがベストを尽くしたいと思います。

10年という節目を契機に、スタッフ一同更に充実した広報紙をお届けできるよう頑張ります。(吉田)

お知らせ・お願い

○「友情の門」建設のお礼

姉妹都市交流10周年を記念した「友情の門」建設には、皆様より心温まるご賛助、ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。お陰様で記念事業が無事に竣工できました。サーモンアーム市民も大変喜んでいっていることです。

○中学生、高校生をカナダへ派遣

今年も姉妹都市カナダ・サーモンアーム市へ青少年親善大使の派遣を予定しています。一週間のホームステイを通して、カナダの美しい大自然と異国の文化を体験してみませんか。詳しい募集案内は広報あずま4月号に掲載する予定です。

お問い合わせは、役場総務課まで (78-2111)

○交流の歩みを文化祭で発表!

委員会では、産業文化祭において、これまでの交流の歩みを写真・文集等で紹介し啓発を図りました。また委員会独自のバッチを作成し交流時に活用することになりました。